

## 令和6年度 学校努力点推進計画

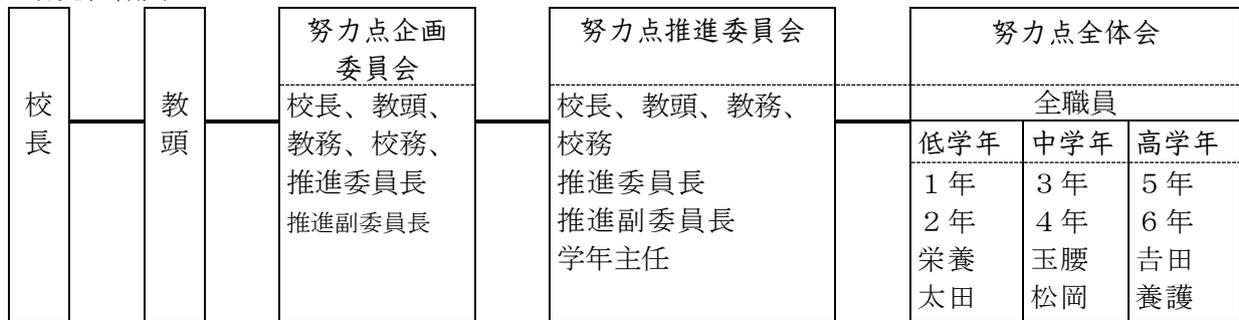
老松小学校 努力点企画委員会

- 1 研究テーマ 振り返りを生かして自ら学びを進める児童の育成  
～ 自己選択、自己決定の活動を通して ～

2 研究のねらい

今年度は、「学びのコンパス」において重視したい姿の中でも、特に「1 自分に合ったペースや方法で学ぶ」ことに重点を置いて指導をしていきたい。基礎基本の内容の習得や定着を行いながらも、児童が自らの学びを振り返り、その過程で抱いた興味・関心に沿って学習を選択できる時間を設定して、学習内容を自分で決定できるようにしていきたい。また、単元を通して学習に対する振り返りを十分に行わせることで、自分の学びに見通しをもち、次の学びへの意欲を高められるようにしていきたい。

3 研究組織図



- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 企画委員会</li> <li>○ 推進委員会</li> <li>○ 全体会</li> <li>○ 低・中・高学年部会</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究の方向性を決め、随時、進捗状況を把握し、研究を前進させる。</li> <li>・ 企画委員会の提案を受け、努力点の進め方について討議し、研究の進捗状況について情報交換する。</li> <li>・ 研究の方法についての共通理解を図る。</li> <li>・ 成果と課題点について発表し合い、情報交換をする。</li> <li>・ 努力点の手立てについて話し合い計画を作成する。</li> <li>・ 具体的な実践研究をする。</li> <li>・ 公開授業の事前・事後検討、準備、当日のTTを行う。</li> </ul> |
|--|--|

4 年間計画

月	実践の内容	月	実践の内容
4	5日 職員会議での提案 (研究組織の編成・基本構想の確認) 15日 努力点部会 (学びのコンパスについての学習)	10	※ 後期実践
5	13日 部会 (実践の計画)	11	※ 各部会で実践経過の確認
6	※ 各部会で実践準備 ※ 人権に関する実践 (～7月)	12	<u>2日 全体授業事前検討会</u> <u>9日 全体授業・事後検討会</u> (最終報告会に向けて)
7	※ 全体会・学びのコンパス学習会	1	※ 努力点報告書作成
8	※ 教材研究、後期実践の計画 26日 部会 (実践概要と計画)	2	17日 努力点報告会 (後期実践)
9	※ 後期実践準備	3	13日 努力点企画委員会 (次年度の計画)

